

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-03-01

No. 128



株式会社 コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

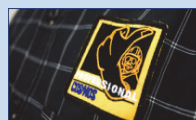
<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-3 Ed. 4.0 (2020-09) – 放射高周波電磁界へのイミュニティ試験(1/2)	3
IEC: 新規格リスト	9
ISO: 新規格リスト	11
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム 182 回目セッション報告書発行(2/3)	13
国際テーマ: メキシコ: 製品の輸入に関する規制の変更点	16
国際テーマ: ブラジルでの通信承認要件の変更	16
国際テーマ: ディスプレイの EU エコラベル基準	17
国際テーマ: 欧州のサイバーセキュリティニュース	17
国際テーマ: モルドバの市場参入条件	18
国際テーマ: ユーラシア経済連合 (EAEU) における規制の変更	18
国際テーマ: 韓国の通信機器要求事項を更新	19
国際テーマ: インドネシアにおける機器認可のための試験	19
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	20
USA: FCC: Part 15, 18: KDB: 短距離無線誘導結合 充電パッド、充電デバイスの規制規則	21
USA: CPSC 警告: ばらの 18650 型リチウムイオン電池を購入または使用しないこと	22
USA: DOE: バイデン大統領の斬新なクリーンエネルギー対策に 1 億ドルの資金提供を発表	22
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	23
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	24
USA: IEEE: 新規格リスト	26
カナダ: ICES-Gen - 妨害引き起こし機器の適合性に関する一般要件修正 1 発行	27
カナダ: RSP-102 - 端末等が技術機器規格に準拠して証明等されるための承認手順	27
カナダ: SRSP-371.0 - 帯域 71~76 GHz 等内で動作する固定見通し内無線システム	28
EU, UK : UKCA マーキングの使用についてのガイダンス変更: 寸法、根拠法名	30
EU: CENELEC: 新規格リスト	33
EU: ETSI: 新規格リスト	37
ニュージーランド: 無線通信 (適合性) 通知 2020 発行: コンプライアンスラベル 関連	39
中国: SAMR: 固定式圧力容器の安全技術監察規程 (改正第 1 号) 等の発行に関する公告	40
中国: SAMR: 一部の国家計量基準単位量に、国際単位系の新たな定義値を受け入れる公告	40
中国: CNCA: 関連規格改訂時における強制製品認証自己宣言評価方法の実施要件	41
中国: CQC: 強制製品認証 電子証明書の使用を促進するための通知	41
中国: CQC: スマート家電相互接続認証 (カテゴリ 008076) の開始に関する通知	42
中国: CQC: 車両用動力電池の CQC マーク認証の実施要件の変更および新しい規格の実施	42
中国: 新規格リスト	43
台湾: 新規格リスト	45
韓国: 電磁両立性試験方法の改正 (案) の意見収斂実施: KN 規格から、KS 規格に置き換	46
韓国: 28 GHz 帯域 5G 移動通信用無線設備の技術基準の改正	46
韓国: 電気用品と生活用品安全法の運用要領の一部改正 (案) 行政予告	47
総務省: 令和 2 年度無線設備試買テストの中間結果報告 (第 1 次)	48
総務省: 生体電磁環境に関する検討会 (第 17 回): 各種資料発表	48
総務省: 国際電気通信連合 (ITU) における IMT-2020 無線インタフェース勧告案の承認	49
経済産業省: 国際標準の開発: 新しい通信識別技術関連、工場のエネルギー効率の最適化	50
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2021 年 1 月分、2 月分)	50
経済産業省: 電気用品安全法 新着情報: 申請手続の様式における押印を求める規定を削除	51
国土交通省: 燃料電池等の燃料として自動車に充てんするための圧縮水素関連基準	51
国土交通省: 「建設機械の安全装置に関する技術」の技術選定結果について	52
厚生労働省: 【国内薬事】三者協議会による参考資料が掲載されました	52
ちょっといっぽく~クイズコーナー 規定?それとも参考?	20
コスモス・コーポレイション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	29
社長の独り言	53



IEC: 規格解説: IEC 61000-4-3 Ed. 4.0 (2020-09) - 放射高周波電磁界へのイミューニティ試験(1/2)

「IEC 61000-4-3 Edition 4.0 2020-09 電磁両立性 (EMC) - パート 4-3: 試験および測定技術-放射高周波電磁界イミューニティ試験」が、2020/09 に発行された。おもな内容と主要変更点を解説する。

- 5.2 試験周波数範囲 「上限周波数は試験機器の性能によってのみ制限され、エンドレスであり、試験対象製品の使用環境に従って製品委員会が製品規格で規定することができる」と、変更された。
- 6 試験機器 電力増幅器で生成される高調波について前版での「高調波による界強度は基本波による界強度に比し最低 6dB 下回ることという規定」が、ここでは削除された。
- 6.3 均一電界面 (UFA) 部分照射の場合、旧版では 1GHz 超え周波数の測定に 0.5mx0.5m の独立ウィンドウ法及び部分照射を規定していた。今版では 0.5mx0.5m の独立ウィンドウ法をなくし、最少 0.5mx0.5m の UFA による試験のみとした。
- 8 試験手順 試験時間を短縮するために、単一の滞留時間中に複数の周波数を同時に適用する複数信号試験が規定された。

UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム 182 回目セッション報告書発行(2/3)

- XIII. 既存の規制の修正と正誤表、および新しい規制の提案- AC.1 による投票
提出された文書に対する投票の結果は、1958 年協定の改訂 3 の第 12 条の手続き規則および付録に従って、本項の表に示されている。以下等の規制を含む：
No. 0 International Whole Vehicle Type Approval (IWVTA) 03 series
No. [159] Moving Off Information Systems

USA: FCC: Part 15, 18: KDB: 短距離無線誘導結合 充電パッド、充電デバイスの規制規則

短距離無線誘導結合充電パッドまたは充電デバイスを規制する規則に関する質問と回答。

- 9 KHz 以上の周波数帯で運用される無線電力伝送 (WPT) デバイスは意図的放射器であり、FCC 規則のパート 15 またはパート 18 のいずれか、あるいはその両方の対象である。適用される規則のパートは、デバイスの運用方法と、充電器と被充電側デバイス間の通信があるかどうかにより異なる。

EU, UK : UKCA マーキングの使用についてのガイダンス変更: 寸法、根拠法名

本ガイダンスが、2021 年 2 月 12 日付で以下のように更新された。

- 2020 年 1 月 1 日を将来の来るべき日程として記載した文体を、その日を超えた現在の状況で記載した文体に変更した。その他 UKCA マーキングの寸法の記載についての変更及び「詳細」項で「UKCA マーキングに対して適合性の自己宣言が許可されている立法分野」を追加した。

中国: CNCA: 関連規格改訂時における強制製品認証自己宣言評価方法の実施要件

- 中国 CNCA は、CCC 認証の自己宣言評価方法の改善、評価規格の改訂時における自己宣言の円滑かつ整然とした実施のため、その関連要件を定める公告を発行した。

社長の独り言

2021 年 2 月 10 日
濱口 慶一

皆様方には、お元気にお過ごしのことを祈念致します。

今年に入ってから新型コロナウイルスのパンデミックが収まり、国内外の経済活動も正常に戻るだろうとの見込みが外れてしまい、2 月 7 日までの非常事態宣言も 1 ヶ月延びてしまいました。人の往来がある以上、弊社でも感染者の発生する可能性がゼロとは言えません。感染防止のため、フェイスカメラ仕様の体温検査器を導入するなどの対応をしていますが、何せ目に見えない敵でもあり、いつかは侵入されるのではないかと危惧しています。

薬品会社の製品で 2 名の死者が出て、製品との因果関係は不明と新聞などで報道されています。製品安全業界に 40 年余活動させていただいた経験から今回の事故を見ると、生産プロセスの構築の際にリスクの特定や本質安全が考慮されていたかどうかという疑問があります。

日本にも製造物責任法が、1995 年 7 月に施行されています。その観点から見ると、薬品の製造会社には、厳しい目で製造工程や品質管理システムのリスク分析や見直しを行い、分析されたリスクを製造工程上（プロセス）で封じ込める必要があると考えます。異なった材料を混ぜ合わせて製品を造る以上、混入が生じないように材料ごとの保管場所を分離し、保管場所の各鍵を別々の人が管理するのに加え、製造ラインの区分けなどを徹底して実践する必要があるでしょう。一般の薬品と同じラインにおいて、同じスタッフが製造していると、原材料の仕分けミスによる取り違えや、記録をつけなくなる恐れがあります。「作業量が多いと手抜きが始まるのはごく普通であり、労使の関係も非常に重要である」と、“ナンシー・G・レブソン女史のセーフウェア“という著書に紹介されています。是非、ご一読ください。

三重県の度会郡に住んでいますが、山桜でしょうか、早くも咲き始めているものがあり、春が近づいてきているのを感じます。趣味の日本蜜蜂ですが、秋の大雀蜂の襲来で 5 つの群が消滅してしまいました。中には巣箱の木枠を噛み砕いて巣箱の中に侵入したような跡もあり、今年は大雀蜂からの完全防衛を行うつもりです。大雀蜂が日本蜜蜂の巣箱の出入り口にやってきたら高電圧に感電する仕掛けを作ろうと思いますが、上記で紹介したナンシー女史が、「一人の命を奪うものは、世界を滅ぼしたと同じである、また一人の命を救う者は、全世界を救ったに等しい」というタルムードユダヤの律法の一文を紹介していたのを思い出します。感電死まではさせずに驚かせるだけにして、自分たちの巣に戻れるようにしようと思います。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-03-01 (No. 128)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。